

令和元年度 岡山市子ども・子育て会議 第1回就学前教育・保育部会（議事録/要約）

日時：令和元年6月3日（月）午前10時57分～午後0時01分

場所：岡山市勤労者福祉センター5階体育集会室

開会

- ・ 部会長挨拶
- ・ 局長挨拶
- ・ 成立確認・・・委員13名中12名出席にて過半数を充足し、成立を確認。

議事

議事進行は部会長

- (1) 岡山市の保育園・認定こども園等の待機児童数について

[事務局から資料に沿って説明]

部会長 委員から質問、意見等あるか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

- (2) 保育利用調整基準点等の見直しについて

[事務局から資料に沿って説明]

委員 何点か、お願いや意見を述べさせていただく。

まず、「保育士資格を持つ保護者が、保育に従事するために自身が就労中の保育施設等に児童の入園を希望する場合」の加点については、保育士が不足している状況からも優先的に復帰できるようにしてもらいたい。

次に、第1希望の加点については、保護者にとってどの園に行くのかは非常に重要なことであり、考慮してもらいたい。

中学校区について、保育所の場合は保護者が園にお子さんを連れていく仕組みであり、地元を選択する方もあれば職場の近くを選択する方もある。学区の差が選考に影響する場合もあり、不要ではないかと考える。

最後に、継続利用について、当初入園した状況と翌年度利用のための現況報告で大きく状況が違えば、その時点で再度審査をすべきと考える。

事務局 いただいた意見は真摯に受け止め、検討させていただく。

(3) 保育所等の利用定員について

[事務局から資料に沿って説明]

部会長 令和2年度の保育の見込みが大きく出ているのはなぜか。

事務局 平成31年1月に実施した、無償化を前提としたアンケート調査を基に、潜在的ニーズも含んだ保育の量の見込みを試算したため大きな数字となっている。この潜在的ニーズが即座に顕在化するとは考えにくい、10月に始まる無償化の状況も加味し、量の見込み、確保方策を定めてまいりたい。

(4) 市立認定こども園の整備について

[事務局から資料に沿って説明]

委員 公立こども園の整備は、中学校区ごとに変更になるのか。

事務局 公立こども園の整備については、中学校区ごとにという意見が一番多いのが事実であるが、現時点で中学校区になることが決定したとか、その方針で動いているということはない。

委員 小学校の組み合わせには反対ではないが、中学校区を越えての小学校区の組み合わせはいかがなものか。場合によっては、同じ中学校区の中でさらに小学校区同士を組み合わせることも考えられるのではないか。潜在的ニーズの増加との兼ね合いも含めて十分判断していただきたい。

事務局 今後どのように見直すか検討してまいりたい。

委員 並列園地域での候補園の絞り込みについては、どのように決めていくのか、自分たちの意見も聞いてくれるのか不安になっているので方向性を示して欲しい。

事務局 どちらの園も公立園のまま残してほしいという意見が多い状況であり、今後、秋までに実効性のある方策を検討する中で、いろいろな方のご意見を聞きながら検討してまいりたい。

委員 新しく公立認定こども園の候補園を検討する場合には、小学校への連携性等セーフティネットの観点から、ぜひ地域や保護者の意見も取り入れながら進めて欲しい。

事務局 さまざまなご意見がある中で、どのような選び方がいいのかを改めて考えていきたい。

委員 こども園をこれからつくっていくときには、今の地域の方とのつながりというのを立ち上げのところから大切にしながら進めてほしい。

委員 公立こども園に移行しない場合は、民営化か廃止になるのかと聞かれるがどのように答えるのが正しいのか。

事務局 市立認定こども園の整備は、セーフティネット等の役割を担うものとして、今は提供区域に1つ、30という方針で進めている。それ以外の市立の施設については、原則的に、民営化又は廃止の方向で地域の方と協議をしながら動いていく。しかし、ある時点で一度にすべてを民営化していくことはできないと考えている。まずは、民間事業者の方の参入意欲等も踏まえ、秋までに、民営化のスピード化を図るための具体的な方策を検討してまいりたい。いずれにしても、地域に入ってしっかり協議をさせていただきながら進めていきたい。

#### (5) その他

委員 今後の開催スケジュールはどうか。

事務局 子ども・子育て支援プラン及び支援事業計画については、8月終わりから9月初めに第2回会議において素案をお示しする。その後、パブリックコメントを経て、年末の第3回会議で成案に近いものをお示し、年度末には完成させたいと考えている。

部会長 他にあるか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

閉会